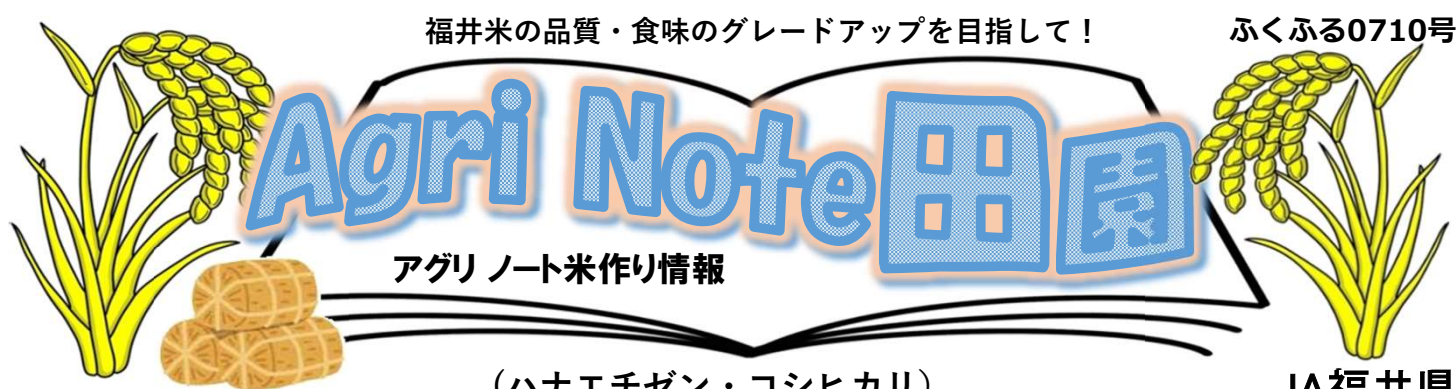




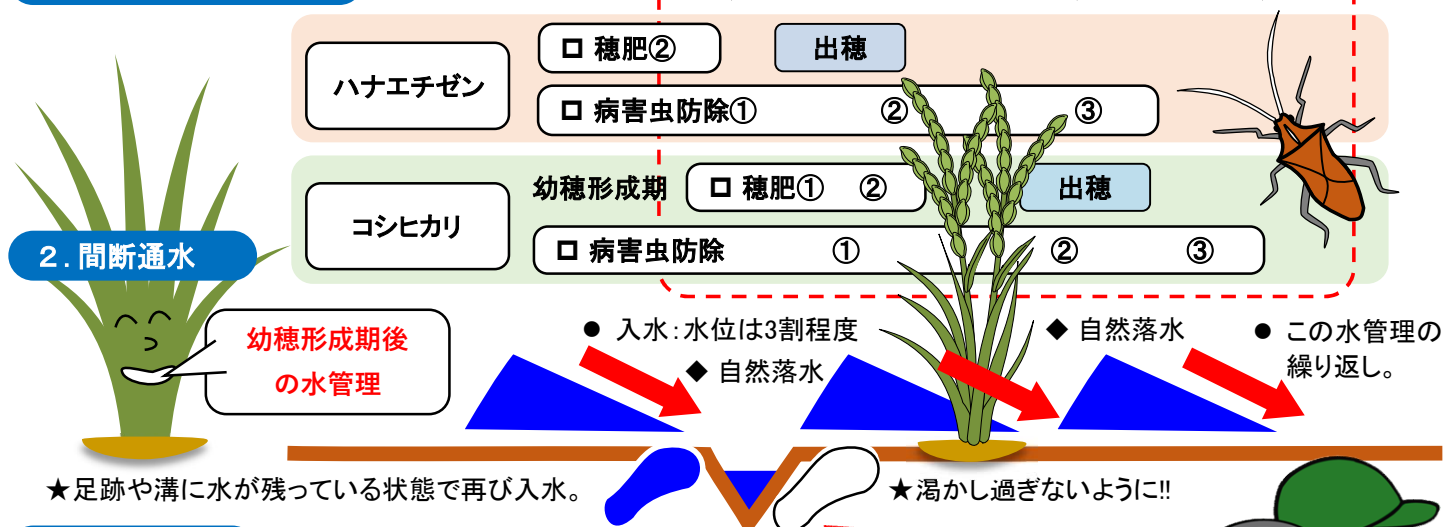
アグリ ノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

水稻は幼穂が形成されてくる時期になります。梅雨に入り、7月の気温は平年並み～高い予報となっており、蒸し暑い日が続くと予想されます。中干し後の間断通水管理を徹底しましょう。また高温による水稻の生育不良やカメムシの多発生、紋枯れ病などの被害が予想されます。適切な防除実施計画を立てましょう。除草、防除作業中の事故や熱中症には十分に注意しましょう。

1. 水田管理の目安



3. 穂肥

分施肥栽培の圃場では、穂肥の時期になります。田植日・肥培等で生育が異なりますので必ず幼穂を確認して行いましょう。

品種	1回目	幼穂長	2回目
ハナエチゼン	済み	1～2mm	1回目の10日後
コシヒカリ	7月中旬	10mm	

★ 一発肥料の圃場でも、葉色が淡い、茎数が少ない場合は検討しましょう。

穂肥は幼穂長を確認してから!!



4. 本田防除

イネの登熟や品質に影響を及ぼすいもち病や紋枯病やカメムシへの適切な防除を実施していきましょう。特にカメムシが多発する地域では3回防除に努めましょう。

★ 穂肥や防除については、担当営農指導員まで、お問合せ下さい。

防除1回目
【穂ばらみ期】

防除2回目
【穂揃期】

防除3回目
【傾穂期】

カメムシ

カメムシの発生は斑点米等による等級落ちにつながります。出穂期の前後の対策が重要です！

- 畦畔の草刈り
- 粒剤散布
- スタークル粒剤
- ダントツ粒剤

- 混合剤散布
- いもち病・紋枯れ病・カメムシなど
- ◆ チームワーク粉剤DL

- 粉剤散布
- ◆ ダントツ粉剤DL

いもち病
紋枯病

各病気は、イネの登熟や品質に影響を及ぼします。適切な防除を実施しましょう。

- 葉いもち病散布
- ◆ 粉剤(ブラシ粉剤DL)
- 粒剤(コトツ粉剤12)

葉いもち病



葉いもちや穂いもちなど罹患部位で病名がかわる。雨が多く、多湿の状況が続くと発生の可能性が高まります。発生状況を見て適期防除を行しましょう。

紋枯病



節間伸長期(7月上旬～)に発生。過剰分けつした株やほ場の周辺部で多発する。発生適温は30℃前後、近年の高温の影響で発生数が増加しています。